



第66号

令和3年11月15日

# むらかみ

市議会だより



## 第3回定例会

令和2年度一般会計決算審査	2～3ページ
市政を問う!! 13人が一般質問	4～11ページ
委員会の審査報告	12～14ページ
議決結果	15～16ページ
議会の取り組み	17ページ
閉会中事務調査	18～19ページ
インタビュー	20ページ

## 市民の宝 輝く瞳

稲刈りで収穫の喜びを体感  
さんぽく小学校

10月11日、5年生13人が5月に田植えをした学校田のコンヒカリを刈り取りました。ほとんどの児童は初めての体験でしたが、鎌で一株ずつ丁寧に刈り取り、最後に農家の方にコンバインで脱穀してもらいました。収穫したお米は給食でいただきます。



# 令和2年度一般会計決算

# 409億円の成果を慎重審査

2年度一般会計歳入歳出決算認定が、議長を除く全議員で構成される「一般会計予算・決算審査特別委員会」に付託され、それぞれ総務文教・市民厚生・経済建設の各分科会で慎重に審査されました。2年度決算は、新型コロナウイルス感染症対応経費である特別定額給付金や経済支援策などにより、歳入歳出とも過去最大となっています。

7日間で行われた質疑のうち、主なものを紹介します。

## 歳入

・地方譲与税

**問** 森林環境譲与税が増額されているが詳細は。

**答** 国の予算は昨年在400億円に上がり、最終的には600億円となる。本市へは令和6年度から、満額の1億1千万円ほど交付される予定である。

**問** 森林環境譲与税は、私有林人工林面積、林業就業者数および人口による客観的な基

準で按分して譲与されている。人口の多い都市に多く配分されることになるが、見直しの動きはないのか。

**答** 譲与基準の見直しについては、人口減少に影響されず、永続的に森林整備を推進するため、森林面積による按分を基本とするよう、市長会で要望している。

・使用料及び手数料

**問** 朝日まほろば夢農園の利用状況は。

**答** 17区画の利用があり、そのうち2区画が減免となつて

いる。今年度は18区画中16区画が使用されている。



朝日まほろば夢農園(猿沢地内)

**問** し尿処理手数料の利用件数は。

**答** 1万1615件である。

**問** 公共下水道の普及によりサービス継続に支障はないのか。

**答** し尿収集業者とは毎年協議の場を持っているが、今のところ継続が難しいということとは聞いていない。

・県支出金

**問** 土木費委託金の住宅費委託金は、県営住宅の管理費だと思いが、県営住宅を修繕するためのものか。

**答** 県から県営住宅の修繕費に交付されるもので、50万以上の場合は50%、風呂釜などの取り替えについては、100%交付される。

・諸収入

**問** 過料65万円の内容は。

**答** 未承認工事による無届使用の一事業者に対する過料であり、上水道条例違反6件、下水道条例違反7件の計13件である。

## 歳出

・総務費

**問** 3月に、火災で焼失したまたぎの家の保険料はどれく

らいになるか。

**答** 復旧する場合は上限2578万円、仮に復旧しない場合は上限515万6千円になる。

・民生費

**問** 市民後見人を養成し、どのようなスキームで活用するのか。

**答** 昨年度11人の市民後見人を養成した。これから市として名簿登録をするが、実践経



市民後見人養成講座

験ができる体制を整えた上で地域で活動していただく。

**問** 未満児保育の受け入れ体制について、待機児童解消に取り組み考えは。

**答** 保育士を確保するため、退職者等にお願いをしているが、いったん退いた方が復帰しづらい現状がある。今年度から開始した保育士資格取得支援補助金の活用など、保育士を地道に増やしていくため尽力していきたい。

・衛生費

**問** 住宅用太陽光発電システムと木質バイオマスストーブ設置費補助金の執行残の理由は。

**答** 昨年度は予定していた予算内の申請であったため執行残が発生したが、今年度については、予算を上回る申請があり抽選となった。ゼロカーボンなどで再生可能エネルギーの利用が広がってきているので、今後ニーズが高まっていくのではないかと期待している。

・農林水産業費

**問** 鳥獣被害対策実施隊員報酬15万3千円は年間の金額か。

**答** 年間の金額である。出勤1回当たり3千円として、出勤回数に応じて支払っている。

**問** イノシシによる農産物の被害額は。

**答** 昨年度の被害額は、稲が326万5千円、野菜が7千円、芋類が3千円である。

・商工費

**問** 住宅リフォーム事業の実績は。

**答** 交付決定数は316件だが、年度途中で家庭の事情などにより中止すると連絡があったものが16件あり、実績は300件となっている。総事業費は交付決定316件時点ではあるが、約4億7千万円である。

・土木費

**問** 除雪機械のリース期間は5年ということだが、購入して5年以上使用すべきでは。

**答** 除雪機械の更新には、交付金や過疎債を活用している。除雪機械は、購入し限界まで使用するという更新計画となっており、現在リースを減らす対策をとっている。

・消防費

**問** ソーラーシステムの避難路照明が設置されたが、日没から8時間で消えてしまう仕

様となっている。長時間対応できる仕様もあるようだが、入れ替えも含めて検討する考えは。

**答** もともとは寄附していただいで付け始めたものだが、長時間対応できる仕様へ入れ替えてほしい。



ソーラーシステムの避難路照明(大月地内)

**問** 新村上総合病院に併設した救急ワークステーションについて、どのように評価しているか。

**答** 大変有効に活用できていると考えている。村上総合病院内での研修も可能となり、救急救命士技術向上につながっている。

・教育費

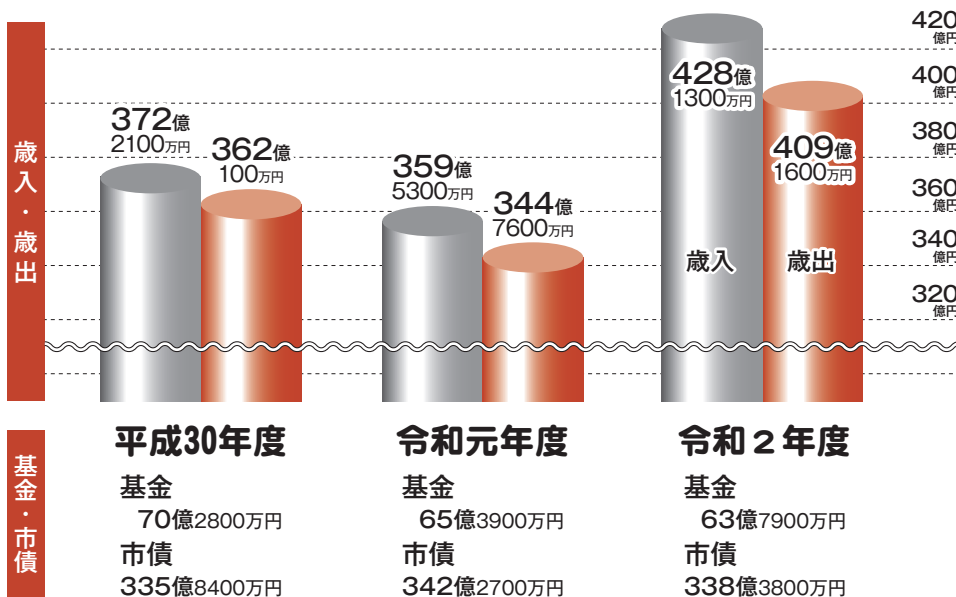
**問** スクールバス機械器具購入費について、神林地区の学

校統合に関連して2台購入したとあるが、統合後の神納小学校ではスクールバスが2回走るルートがあることから、改善するための購入か。

**答** 旧平林小学校区児童の通学のためのものであり、神納小学校では2往復の状況は解消されていない。帰り時間が低学年と高学年で違うことから、現段階では運行調整が難しいと捉えている。

過去3年間の一般会計の決算額推移

※金額は100万円未満四捨五入で記載しています。



# 市政を問う!!

13人が  
一般質問

9月2日・6日・7日の3日間の日程で行われた一般質問に13人の議員が登壇しました。

質問および答弁の要旨を質問順に掲載します。

一般質問の原稿は、質問者が作成したものを掲載しています。

**1 高田 晃議員** 5

1. 総合型地域スポーツクラブとの連携や支援策について
2. 新型コロナウイルス感染症予防のワクチン接種業務について
3. 蒲萄スキー場の将来構想について

**2 長谷川孝議員** 5

1. 遊休資産の売却処分について
2. 第2期総合戦略について

**3 鈴木一之議員** 6

1. 防災・減災、安心安全なまちづくりについて
2. 児童・生徒に対する安全対策及び危機管理について
3. インクルーシブな遊び場の実現について

**4 上村正朗議員** 6

1. 市営中川原住宅の建て替えについて
2. 就学援助制度について
3. 中学校の校則について

**5 渡辺 昌議員** 7

1. 総合型地域スポーツクラブとの連携や支援について
2. ほう賞制度について
3. 朝日みどりの里「またぎの家」について

**6 稲葉久美子議員** 7

1. 令和2年度の新型コロナウイルス対策の実績について
2. 新型コロナウイルス感染症第5波への対策について
3. 障がい者や子ども・女性に対する支援について

**7 菅井晋一議員** 8

1. 地球温暖化対策と地域森林資源の有効活用について

**8 木村貞雄議員** 8

1. 鮭文化の継承について
2. 買い物弱者の支援について

**9 富樫雅男議員** 9

1. 学童保育所の実態と改善について
2. GIGAスクール構想の実態と対応について
3. 新型コロナウイルス感染症対策について

**10 鈴木いせ子議員** 9

1. 中山間地の農業について

**11 河村幸雄議員** 10

1. 通学路の安全確保について
2. ヤングケアラーを社会全体で支援することについて
3. 元気なまちに再生することについて

**12 姫路 敏議員** 10

1. 保育園運営について
2. 自衛隊との協力関係について
3. 村上駅前開発について

**13 山田 勉議員** 11

1. 村上市民憲章碑について
2. ウオロク大町店跡地の購入と公衆トイレの設置について
3. 胎内市畜産団地の悪臭防止対策について

※紙面の都合で質疑内容の一部を掲載しています。詳しくは、中央図書館に備え付けの会議録や、市ホームページから本会議の録画中継をご覧ください。



村上市 議会中継  
<https://www.city.murakami.lg.jp/site/shigikai/gikai-chukei.html>





# 蒲萄スキー場の将来構想は



高田 晃 議員

**問** 2シーズン休止している蒲萄スキー場の今年度の営業計画は。

**答** 現在、「村上市新型コロナウイルス対策ガイドライン」および「蒲萄スキー場ガイドライン」に基づき、感染対策を徹底して運営を行う予定で関係者と協議しているが、今後の感染状況も踏まえて慎重に判断していく。

**問** 公共施設マネジメントプログラムでは、課題と今後の方向性を令和2年度から検討し、4年度に方針決定となっている。検討に当たっては、平成26年度の外部委員会からの答申や25年度の運営計画を参考に進めてほしいが、現在の状況は。

**答** 現在、庁内関係課で現状把握や課題の検証を行っ



再開を待ち望む蒲萄スキー場

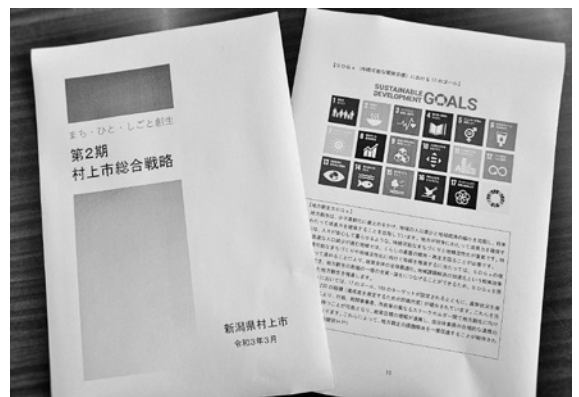
**問** 「蒲萄スキー場を今後どうするか」という議論は以前からあるが、公共施設の整備や管理の在り方を検討しているのが良いチャンスだと思う。今後のスキー場の在り方を検討した外部委員会からの答申を取り入れること、そして重要なことは、専門的な知見を有する人やスキーをはじめ地元スポーツ関係、業界関係者が一堂に会して、真剣に議論する場をぜひ作っていただきたいと思うが、市長のお考えは。

**答** ご指摘のとおりだと思う。これまでの経過、設置の歴史的経過を踏まえ、利害関係者ともしっかりと丁寧に進めていくことは、全ての分野で行っていることなので、この意識を進めていきたいと思っている。

## 横断的政策力の強化

**問** コロナ禍による閉塞感を感じる中、アフターコロナを見据え、第2期総合戦略に果敢に取り組む必要がある。特に政策面については所管課で取り組むばかりでなく、横断的に取り組むものが増えていくと考えるが、その対応について伺う。

**答** 本戦略は、本年4月を計画の始期として、持続可能なまちを目指すことをコンセプトにSDGs（※）の考え方なども取り入れ「攻めの策」として人口の増加や地域の活性化を目指す積極的な取り組み、「守りの策」である人口減少によって生じるさまざまな課題に対処し、市民



第2期総合戦略は横断的な対応を

の暮らしを守る取り組みの両面をバランスよく講じていくこととした計画となっている。しかしながら、昨年から続くコロナ禍により、地域にぎわいづくりや市内産業の活性化を目指す積極的な取り組みが講じにくい状況にある。他方で、ICTなどデジタル技術を活用したさまざまな動きや脱炭素に向けた取り組みなど、これまでとは異なった社会変化が急激に進展しており、新しい生活様式とともに、新たな働き方や地方での暮らし方が見直されている一面もある。これまで以上に広範な視点を持ちながら多様な政策を効果的に実施していくことが求められ、こうしたことに応えられる体制、組織について早急に構築する必要があると考えている。



長谷川孝 議員

※「SDGs（エスディージーズ）」とは？ Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットで決められた、国際社会共通の目標。

# ハザードマップの活用を

**問** 浸水想定区域の保育施設の防災対策については、どのように考え、実施しているのか伺う。

**答** 各保育園、学童保育所では、毎月、避難訓練を実施しており、いざという時のさまざまな災害に備えている。その中で、村上市洪水・土砂災害ハザードマップにより、浸水想定区域に立地する保育園、学童保育所については、洪水時の避難確保計画を策定し、避難場所までの経路の確認や警戒レベルごとの対応を定め、園児・児童の確実な避難誘導を行えるよう訓練している。今後もさまざまな災害に備えるため、定期的な避



村上市ハザードマップ



鈴木一之 議員

難訓練を実施していく。

**問** ユニバーサルデザインによる全ての人が参加できるインクルーシブ(※)な遊び場の実現についての考えは。

**答** 遊びは子どもにとって必要不可欠なものであり、遊びを通じて心身が成長し発達することから、幼少期における豊かな遊びの体験は非常に重要なことと認識している。

ユニバーサルデザインにより、誰もが利用しやすい、また、障がいがある方も利用できるインクルーシブな遊び場の必要性についても十分理解をしているので、旧神納東小学校体育館で計画している屋内遊び場へのユニバーサルデザインの遊具の設置やインクルーシブな遊び場の提供について、効果的な設置方法や設置場所を検討していく。

※「インクルーシブ」とは、「あらゆる人が孤立したり、排除されたりしないよう援護し、社会の構成員として包み、支え合う」という社会政策の理念のこと。

## 市営中川原住宅の建て替えを



上村正朗 議員

**問** 老朽化した市営中川原住宅を建て替えるべきと考えるか。

**答** 公営住宅の需要や社会情勢の変化を勘案し、民間の賃貸住宅等の積極的な活用を検討するなど、令和4年度改定予定の「村上市公営住宅等長寿命化計画」に反映したい。

**問** 就学援助制度の周知や申請手続きの方法等を見直すべきでは。

**答** 制度のお知らせの配布や市報、市ホームページへの掲載により全ての保護者に周知を図っている。また、来年度よりこれまで希望者に配布していた申請書を全児童生徒の保護者に配布するようにして、より申請しやすい環境を整えることとした。

**問** 制度の対象費目を拡大すべきではないか。

**答** オンライン学習通信費は今年度から支給することとし、卒業アルバム代等は来年度から援助対象とすることで検討している。クラブ活動費は、部活動によって活動費用が異なることから、内容を調査して検討していきたい。体育実技用具費は柔道着等の購入費用だが、対象校が少ないことから援助対象に加えることは考えていない。

**問** 文部科学省の事務連絡に沿った中学校の校則の見直し状況は。

**答** 教職員が内容を検討し、大きな差異が生じないようにしている。また、生徒同士の話し合い、PTAアンケートなどにより教職員以外の声も反映して見直しを進めている。

**令和3年度 就学援助制度＜主要保護＞のお知らせ**

市では、小・中学校へ通学する児童生徒をお持ちで経済的に困窮のお困りの家庭を対象に、学校に必要な学用品費や給食費を補助(助成)する就学援助を行っています。希望される方は、下記より申請して下さい。**今年度援助を受けていた家庭や、令和3年1月に小学校入学生徒申請を申請した家庭も、改めて申請が必要です。**

**1. 提出するもの**

① 令和3年度 就学援助申請書(修正があった場合、印鑑が必要になりますので、ご持参ください)

【申請書はどこでもらえるの?】

- ① 申請書 村上市内小中学校・学校教育課・各地区教育事務所にあります。
- ② 村上市のホームページ(入居入学一対面から一対面申請制度)からもダウンロードできます。URL: <http://www.city.murakami.lg.jp/>

② 振込先口座の通帳の写し(金融機関名、支店名、口座種別、口座番号、口座名義人フリガナの記載されたページ)

③ 申請者(保護者)の身元を確認できる書類の写し【初めて申請する方のみ】

※ただし、前年度の申請者と今年度の申請者が異なる場合は必要です

A【1枚だけよいもの(次のうちからいずれか1点)】※顔写真付きの公的書類

- 「運転免許証」
- 「個人番号カード(表面)」
- 「パスポート」

B【2枚以上の提出が必要なもの(次のうちからいずれか2点以上)】※本人がいない場合のみ

- 「戸籍簿」
- 「住民基本台帳」
- 「国民健康保険証」
- 「国民年金証書」

利用しやすく内容が充実した就学援助制度が必要



# 「またぎの家」再建への考えは



渡辺 昌 議員

**問** 朝日みどりの里のシンボリックな建物であった三面民家「またぎの家」が、今年3月に発生した火災により焼失したが、火災発生の原因の特定など、事後処理はどのようになっているか。また、指定管理者とは現在までどのような協議がされているのか。

**答** 出火原因等については、村上警察署と消防本部で合同捜査を実施したが、原因の特定ができず、出火原因は不明である。火災による残存物については、5月7日までに解体、処分を完了した。

指定管理者とは火災事故報告により、経過や管理状況、今後の対策について協議を行い、再発防止に努めているところである。



貴重な文化財でもあった「またぎの家」

**問** 「またぎの家」は単に古民家を移築したものでなく、社会的背景のある建物である。道の駅「朝日」のリニューアル計画と併せて、ほかに保存されている古材を活用して再建することを強く望むが、所見は。

**答** 「またぎの家」は奥三面の生活や文化を伝える貴重なものであると認識している。現在、道の駅「朝日」拡充計画に基づくリニューアルについては、専門家によるプロデュース業務を検討している。その業務の中で計画の進捗と併せ、古材の活用や再建など、既存施設との連携・活用も含め、検討していきたいと考えているところである。

一般質問 (4)

# ワクチン接種を迅速に

**問** デルタ株に置き換わったコロナウイルス感染症が急拡大する中で、誰でも、いつでもPCR検査を受けられる体制が必要ではないか。

**答** 本市における感染症患者が急激に増加するよう状況においては、速やかに村上保健所と連携し、感染拡大防止のためPCR検査等を効果的に実施することが必要であると考えている。感染しない、させない対策が重要であるため、防災行政無線やメールマガジン等を通じて、市民の皆さまにご協力をお願いしている。

**問** 学校での集団接種について伺う。

**答** 学校現場での集団接種は、なか



生理用品を配布しています(福祉課総合相談窓口および各支所地域振興課地域福祉室)



稲葉久美子 議員

なか難しい。同調圧力になりうる可能性があるため、現段階では、実施しない方針である。

**問** 市内の経済支援について伺う。

**答** 影響が長期化している飲食店等の事業者に対しては、店舗賃料等の一部を補助する給付型の支援を講じている。また、感染拡大が収まり経済活動を喚起できるタイミングで速やかに事業を行えるように「元気づくり商品券・飲食券」の発行などの準備をしている。

**問** 「生理の貧困」が表面化しているが、市としての取り組みは。

**答** 8月30日から県が実施している「女性のつながりサポート事業」に協力し、希望者に生理用品の配布を始めた。また、女性の不安や問題解決のため、福祉課総合相談窓口で相談を実施している。

(7)

# 脱炭素で築く豊かな未来

**問** 「ゼロカーボンシティ」の進捗状況と今後の具体的な取り組みは。

**答** 森林組合等の林業経営体と制度の内容や取り組み事例についての意見交換や先進地視察を実施した。令和4年度、県制度でのプロジェクト登録に向け準備を進めている。

**問** 「林業の成長産業化」には林業者・森林組合から製材業、木材販売業、建築業と川上から川下まで木材に関わる全ての業者・組織が一体となったサプライチェーンの構築が必要な時代だ。この課題に、市が先導して取り組むことはできないか。

**答** 川上の素材生産者や、川中の製



「森林大学校」の候補地、旧塩野町小学校



菅井晋一 議員

材業者、川下の工務店の若手を中心とした意見交換の場を設定し、異業種の関係構築に向けた取り組みをスタートさせた。今後は、各事業関係者が、整備された森林情報を共有できる仕組みづくりや協議会の設置など、最適なサプライチェーン構築の実現に向けた取り組みを進めていく。

**問** 県下随一の豊かな森林資源を生かし、専門人材の育成と若者定着を目指した、「新たな高等教育機関」「森林大学校」を本市に誘致できないか。

**答** 地元関係団体で新たな高等教育機関を誘致するための協議会の設立準備会が発足したと聞いている。その意識が市内全域に広がるのが重要であり、本市の目指す「林業の成長産業化」を現実のものとするため、森林、林産業を分野とする高等教育機関の実現の取り組みを進める。

## 世界一の鮭のまちに



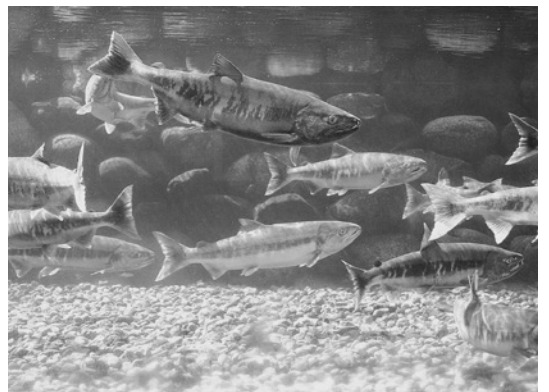
木村貞雄 議員

**問** 村上市を「世界一の鮭のまち」にするという目標を掲げ、鮭文化創造都市のユネスコ認定を受け、本市がさらに経済的恩恵が受けられるようにすべきと考えるが市長の考えは。

**答** 平成30年度にむらかみ「食のみらい」創造協議会が設立され、食文化の継承や豊富な食材の魅力発信に取り組んでいる。鮭をはじめ、地域の資源を育て、広げることがユネスコ食文化創造都市を目指す上で重要だと考えている。

**問** ふ化場の地下水不足への支援は。

**答** 三面川鮭産漁業協同組合から、地下水量が少なく、現施設の井戸ポンプの交換や増設しても、地下水不足の解消には至らないとの



イヨボヤ会館と連携した体験交流の場を期待

報告がある。重要な産業に支障が生じないよう、市としての役割を果たしていく。

**問** 右岸の改修工事に合わせ、体験交流の場を計画してはいかがか。

**答** 直売場、トイレなどの改修のほか、新たに教育施設や見学施設として、三面川に設置したウライ(※)の水中映像が鑑賞できる設備が検討されていると聞いている。今後漁業関係者と協力して支援していく。

**問** 本市では平成10年に鮭サミットを開催している。鮭文化を世界に発信する鮭サミットを開催しては。

**答** 市の得意とする分野を前面に押し出して、世界へ市のメッセージを発信していくのは有益であると思う機会があればそのようなプログラムを考えていく。

※「ウライ」とは？  
魚が遡上できないように川幅いっぱいに設置される柵のこと。



# 学童保育所の実態と改善は



富樫雅男 議員

**問** 学童保育所の定員と登録人数の実情について伺う。

**答** 夏休みなどの長期休暇中と平時の利用状況により異なるが、通年で定員超過しているのは瀬波、保内、神林の3施設となっている。

**問** 本年4月時点での登録人数は、定員に対し瀬波、保内が131%、神林は164%となっているが、定員オーバーへの対応を伺う。

**答** 平常時はほぼ定員の利用となっているが、これ以上増える場合は対応が必要と考える。

**問** 指導員1人当たりの児童数は、二之町、山辺里、瀬波、保内が12〜15人で、岩船、金屋は6〜7人と格差が大きい理由について伺う。

**答** 特別な配慮が必要な児

童が多い所は指導員を増員しているため、学童保育所間で配置人数が異なる。

**問** 児童手当受給世帯では3人以上の児童がいる多子世帯は19%で、児童の人数では32%と多い。

県内の他市の状況を調べると、幾つかの市では、2人以上の場合は利用料を半額にするなどの援助・支援を行っている。

子育て環境をさらに整備し、少子化を食い止めるためにも利用料の減免を検討していただきたいが、お考えを伺う。

**答** 子育て支援、子育て環境が充実していることは非常にインセンティブを発揮できると考えるので、直ちに検討したい。



保内学童保育所



耕作放棄された水田(荒沢集落)

**問** 中山間地農業の展望は。

**答** 中山間地域では、条件不利地が多いことに加え、高齢化による離農者の増加や担い手不足、イノシシによる鳥獣被害の拡大など、多くの課題を抱えている。今後、営農継続や優良農地の維持が危ぶまれる地域もあると認識している。本市ではこれらの対策として、従来から取り組んでいる国の「日本型直接支払制度」の交付金の有効活用と、有害鳥獣の強化を柱とした総合的な取り組みを、地域ぐるみで推進することが重要であると考えている。

**問** 有害鳥獣による水稻被害への対

策は。

**答** 被害の拡大は営農意欲の減退にもつながり、健全な農業経営に多大な影響を及ぼすと考えている。このことから有害鳥獣対策を強化し、放棄地の発生を未然に防ぐことが重要であり、地域の実情に応じ、防除・環境整備・捕獲の3つを組み合わせた総合的な取り組みを地域ぐるみで推進することが最も効果的な施策であると認識している。山北地域の越沢集落では、有害鳥獣対策モデル地区として、集落環境診断やワークシヨップの開催などで、鳥獣被害に対する非常に高い住民意識の形成がされている。また、令和3年4月からは、有害鳥獣対策経験のある地域おこし協力隊員を迎え、地域と猟友会などが協働で取り組める地域ぐるみの捕獲体制づくりが進められている。

## 中山間地の農業をどう守る



鈴木いせ子 議員

# スクールバスの運行拡大へ

**問** 通学路の総点検を改めて行い、緊急対策を拡充・強化し、速やかに安全確保の課題を洗い出す必要があるが、現在の村上市の対応は。

**答** 学校による危険箇所把握に加え、学校、道路管理者、警察署との合同点検を行うなど定期的に通学路の安全確保に努めている。9月中旬に対策案の検討を行い、関係機関と共通認識を持ちながら通学路の安全性の向上に向けた対策の実施を推進していく。

**問** 登下校中の安全確保に向けた取り組みとして、スクールバスの普及が重要だと思いが、現状と今後の考



通学路の安全向上へ



河村幸雄 議員

え方は。

**答** 遠距離通学する児童・生徒の負担の軽減を図るためにスクールバスを運行している。小学校では自宅から学校までの距離が4km以上、中学校では6km以上を目安として運行している。冬季については、小学校で2km以上、中学校で3km以上を目安にして運行している。また、学校統合時の要望、道路事情、通学する児童の学年・人数などの教育的配慮が必要な場合や近年は通学路付近にクマの出没が頻発した場合など、児童・生徒の安全確保のため運行している場合もある。今後も通学路の交通安全、防犯等の対策の一つとして、学校や保護者、地域の声を把握しながら柔軟な運行を検討し、運行基準の見直しについても検討を進めていく。

## 実態に合った保育園運営を

**問** 保育園運営の現況を聞きたい。

**答** 保育園は昨今、共働きの家庭が増加しており保育園への要望は多く、特に3歳未満児保育についてのニーズが高まっている。

**問** 本年8月1日における3歳未満児の入園待機児童は24人となっているが、その対応はできているか。

**答** 対応するためには保育士の確保が必要である。現在八戸ワーク村上にも求人を出しているものの、応募者が来ていないのが現状である。また、保育士の資格取得の際に、その経費を補助する制度も用意しており、現在4人の方が利用している。3歳未満児保育のニーズに応えるため、さまざまな取り組みの中で保育



姫路 敏 議員



充実した保育園運営に期待

士の確保に努めている。

**問** 法律では保育園は働いている人のために子どもを預かる施設とされている。しかし、保護者の中には子どもを預かっていたら、思い切って働くことができる」と言う親も多い。最近では経済的にも、出産後すぐに働かなければならない夫婦共働きの家庭が多くなってきている。行政は現実的な保育ニーズに応えるための運営を行うべきである。

**答** 保育園運営も法律に従い、一定のルールの中で運営をしている。その中において、さまざまな家庭環境の実態に合った保育園運営ができるように努力していく。



# ウオロク大町店跡地の今後は



山田 勉議員

**問** 3年前に村上市中央商店街振興組合が、ウオロク大町跡地の市購入と利活用を求める要望書を提出しているが、その後のお考えは。

**答** 当該用地を市役所庁舎周辺における駐車場等の候補地の一つとして検討してきたが、まずは、当該地域の景観整備に重点的に力を入れていくことから購入に至っていない。今後、市役所庁舎周辺の整備については、当該用地の利活用を含め、全体的に検討したいと考えている。

**問** 旧市憲章碑を新しい市憲章碑に変えるべきと思うがお考えは。

**答** 旧市憲章碑については、本市がこれまで重ねてきた時間の中で大切なレガシーとなるため、このよう



ウオロク大町店跡地の購入と公衆トイレの設置を

な歴史を市民へどのように伝えるべきかを検討しつつ、現在の市憲章の記念碑建立についても本市の周年記念等の機会を捉えてお示しできるよう検討していく。

**問** 今年の夏は特に両新、荒屋および海老江集落などは悪臭が強く大変だったと聞いているが、胎内市畜産団地の悪臭対策については、どのような話し合いがされているか。

**答** 今年7月に畜産団地の鶏舎で火災が発生し、その後しばらく臭気対策が十分に行われていなかった期間があり、夏に悪臭が強かった一因ではないかと聞いている。今後も状況の把握に努め、胎内市との連携を密にして悪臭防止対策を進めていく。

## 請願・陳情の手続き

～提出締め切りは定例会初日の14日前です～

市政に関する意見や要望があるときは、誰でも請願書や陳情書を市議会に提出することができます。提出された請願書や陳情書は、定例会ごとに開催する常任委員会で審査され、請願書については最終的に本会議で採決されます。

市議会に請願書や陳情書を提出される方は、次の要領で提出してください。

〇〇〇〇に関する請願（陳情）  
請願（陳情）の要旨

請願（陳情）事項  
1  
2  
3

年 月 日  
村上市議会議長 〇〇〇〇様

郵便番号  
住所  
氏名  
連絡先（電話番号等）  
※請願の場合は紹介議員

- ① 件名、要旨、請願（陳情）事項を記載してください。
- ② 提出者は、住所・氏名・電話番号を記載し、署名または記名押印してください。（法人の場合は、名称および住所などを書き、代表者が署名または記名押印してください。）
- ③ 請願書には、紹介議員1人以上の署名または記名押印が必要です。
- ④ 陳情書は、紹介議員の署名等の必要はありません。ただし、陳情書は議会の本会議での採決は行わず、所管常任委員会で審査のみとなり、常任委員全員の了承で願意承となります。
- ⑤ 請願書・陳情書は、随時提出可能ですが、年4回（3月、6月、9月、12月）の各定例会で審査するために、定例会ごとに締切日を設けています。

**【締切日】** 定例会招集日の14日前（祝祭日の場合はその前日）の正午まで

**【受付場所】** 村上市役所4階 議会事務局（郵送でも可（締切日正午まで必着））

- ⑥ 請願書の審議結果については、郵送でお知らせします。陳情の審査結果に関しては、市内の方からのものは、郵送でお知らせします。その他の方については、ホームページでお知らせしています。結論が出ない場合は、継続審査となる場合もあります。

# 委員会の審査報告

◎は委員長  
○は副委員長

## 総務文教

◎小杉武仁 ○河村幸雄  
渡辺 昌 木村貞雄  
本間善和 高田 晃  
佐藤重陽

### ◆村上市過疎地域持続的発展

#### 計画の策定について

**問** 市民生活における交通確保対策では、スクールバスの有効活用も考えられるが、混乗化についてどう捉えるか。

**答** スクールバスの運行に支障のない範囲ではあるが、一般の方を乗車させるもので、現在、関係課と調整中である。準備が整えば来年度から試験的に実施していきたい。

**問** 公共交通の空白地帯もあることから、現状として困っていることも記載されているが、学校教育課と協議している具体的な内容は。

**答** スクールバスを活用した混乗事業については、今のところ山北地区をモデル地域として考えており、学校教育課



スクールバス混乗化の検討を

**答** 職員採用2次試験において実施しているものだが、才

# スクールバスの有効活用

とこれまでに3回にわたり協議してきた。今後は政策調整会議に諮っていきたい。

### 3年度一般会計補正予算

#### 【歳出】

##### ・総務費

**問** 一般管理費にあるA-職員面接業務委託料について、どのような内容か。

ンラインで委託業者が面接を実施したのち、採点と分析結果を提出してもらった方法で取り組むもので、補正予算は受験者の人数分を追加したものである。

##### ・消防費

**問** 庁用器具購入費で移動式Wi-Fiの購入という説明だが、設置や活用方法は。

**答** 人が常駐する避難所などのWi-Fi設備の設置は終わっているが、緊急時において

行ったが、その後、水滴落下の状況や調査の結果は。

**答** 現在は、水滴落下が確認できるのは月に1回あるかなにかという状況であり、外部からの雨漏りではなく、内部の結露と考えているが、結露の原因についても引き続き調査を実施し、観察しながら随時点検していく。

**問** PR動画制作業務委託料の内容は。

**答** スケートパークを中心として地域のPRや、経済的な付加価値を生んでいくような配信動画を制作したいと考えているが、今後精査していきたい。

**問** 動画制作に係る既存スポーツ団体等との連携は。

**答** 観光面も取り入れて経済的な効果を見込んでいることから、観光協会、瀬波温泉旅館協同組合、日本スケートボーディング連盟、国の関係機関の方たちと協議をしているが、総合型地域スポーツクラブとの関連も今後検討して

**問** 山北中学校体育館の雨漏りに関する閉会中事務調査を

**答** 3団体から希望が出されており、集落、町内に設置するものである。補助率は、75%で60万円が限度となる。

##### ・教育費

**問** 山北中学校体育館の雨漏りに関する閉会中事務調査を

いく。また、先進地視察の提案も国から受けており、スケートボードを中心とした組織づくりを検討していきたい。

**問** 地域資源を活用した観光や文化をもとにスポーツ振興を図る組織づくりのことだが、スケートパークに特化したものになるのか。

**答** 幅広く本市のスポーツ面の財産を総動員するよりも、スケートボードの聖地「むらかみ」の拠点でもあるスケートパークに特化した事業展開をしていくことで、まちづくりや観光誘致などにつなげられる事業展開になるものと認識している。

### ◆条例改正 1件

### ◆3年度特別会計補正予算

#### ◆情報通信事業特別会計

#### 2年度特別会計決算

#### ◆土地取得特別会計

#### ◆情報通信事業特別会計

以上を中心に審査しました。



# 市民厚生

◎長谷川孝 ○鈴木一之  
鈴木好彦 上村正朗  
富樫雅男 稲葉久美子  
鈴木いせ子

◆村上市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例制定について

**問** 瀬波デイサービスセンターは、社会福祉協議会が指定管理者として運営をしている施設であるが、施設を移譲し、建て替えをしてもらうなどの協議はあったか。

**答** 今までも社会福祉協議会との協議をしてきたが、移譲までは至らなかった。

**問** 指定管理で運営している施設の建て替えが課題となってくる。移譲して建て替えや運営を行うてもらえる方向性を検討してほしいが。

**答** 検討を重ねていきたい。

3年度 一般会計補正予算

〔歳出〕

・総務費

**問** マイナンバーカードと健康保険証が一体となるのは



廃止される瀬波デイサービスセンター

**答** 10月から利用開始となることだが、具体的に何日からという情報は無い。

・民生費

**問** 瀬波デイサービスセンターの廃止に伴い、中重度の要介護認定者も利用できるように、上海府デイサービスセンターに特殊浴槽を導入する改修工事を行うとのことだが、収支の改善見込みは。

**答** 全体の収支は今後の利用状況を見ながらなるが、導入にあたり、収入については、要介護3の方が1日当たり5

## 心身ともに健康な生活を

人利用した場合で試算し、約1300万円の増加と見込んでいる。支出については、電気料金やボイラーの灯油代などで、現在の経費を最大1.5倍として試算しており、約190万円の増加と見込んでいる。

**問** 新型コロナウイルス感染症緊急対策経費に、ひとり親家庭等応援事業委託料として300万円が計上されている。スピード感を持って取り組んでほしいが対応状況は。

**答** 1人当たり4000円で

格証は94世帯、短期保険証は51世帯と聞いているが、直近の状況は。

**答** 3年8月1日現在で、資格証は90世帯、短期保険証は65世帯である。

**問** 特別調整交付金のうち精神疾患にかかる交付金について、本市は精神疾患の方が多いのか。

**答** 地域の特別な事情により交付されるもので、レセプト点検の内容を1年間全て見て、一定程度の割合を超える市町村に交付されている。本市は、

なったが、今年度からの第8期事業計画では療養型施設の転換整備等があり、1億2400万円の取り崩しを予定し、保険料の急激な増加とならないよう計画した。

**問** 介護認定審査の状況は。

**答** 2年度の申請者数は、新規863人、変更418人、認定の更新申請2460人、合計で3741人である。介護度別認定者の内訳は、3年3月末現在で、軽度者が増加しており、要支援1が366人、要支援2が403人、要介護1が947人である。高齢化率が高くなっていることから、認定者数が年々増えている状況にある。

◆条例廃止 1件

◆指定管理者の指定 1件

3年度 特別会計補正予算

◆介護保険特別会計

2年度 特別会計決算

◆後期高齢者医療特別会計

以上を中心に審査しました。

◆国民健康保険特別会計  
**問** 2年8月1日時点で保険税滞納世帯に交付している資

2年度 特別会計決算

約750人分を、議案成立後の10月初旬に村上物産会と契約する予定である。契約後、対象者へパンフレットを発送し、10月末までに希望の商品を決めてもらい、年内には商品を送りたい。

◆介護保険特別会計

**問** 基金残高が増えてきているが、取り崩して保険料の上昇を抑制しないのか。

**答** 第7期事業計画では施設整備予定の延期もあり、基金の取り崩しは行わず積立と

# 経済建設

◎川崎健一 ○川村敏晴  
姫路 敏 山田 勉  
大滝国吉 菅井晋一  
尾形修平

## ◆市道路線の変更について

**問** 大沢地区内に新設される道路の完成予定は。

**答** すでに盛土をしており、完成形ではないが通行ができるようになってきている。

**問** 市道の変更については、大沢集落などと協議はしたか。

**答** 大沢、大毎の関係集落と協議をしており、高速道路建設に関連した市道の変更であり、協力したいとの意見が多数であった。

## ◆村上市職業訓練施設条例を廃止する条例制定について

**問** 昭和45年に完成し、1万374名の卒業生がいるが、閉鎖にあたっては、式典などを考えていないのか。

**答** 運営にあたっては村上職業訓練協会と協議し、市もできる限りの対応ができるように考えていきたい。

## ◆公の施設に係る指定管理者の指定について

**問** 農村公園の草刈りなどの維持管理は区で行っているが、燃料代の支給や、草刈りを市が行うなどの支援はないのか。

**答** 草刈りについては、区に行ってもらっているのが現状である。今後は、公共施設マネジメントプログラムの中で、農村公園の管理運営がどうあるべきかを整理していく。

## 3年度 一般会計補正予算

〔歳入〕

・財産収入

**問** 市行造林間伐材売却収入について、間伐材の販路は決まっているのか。

**答** B材の合板材は新潟合板振興株式会社に、C材のバイオマス材はバイオパワーステーション新潟に売払いを予定している。

**問** B材、C材の搬出とこのだが、建築材となるA材は

## 3年度 事業会計補正予算

◆簡易水道事業会計

**問** 施設改良工事の内容は。

**答** 高根浄水場の送水ポンプおよび滅菌器の取り替え、干縄、葦太配水池の水位計の更新である。

## 2年度 特別会計決算

◆蒲萄スキー場特別会計

**問** 今年度オープンへの準備状況は。

**答** オープンを前提に進めており、人員確保については関係者と協議中で、最終判断の後、募集をする予定である。食堂の運営については、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底するため、県の認証をとるなどの準備を進めている。

努力はできないのか。  
**答** 純利益は資本を築くものであるが、その運用形態、保有形態は、全てが現金ではなく固定資産等で持っているもので、料金値下げの段階にはなく、限られた現金を積み立てて施設更新等に備えていかなければならない状況であると判断している。

◆簡易水道事業会計

**問** 上水道事業への統合については、どのような計画か。

**答** 配水池の廃止を含めて統合計画を進めているところであり、山辺里と村上の統合等も順次進めていく計画となっている。

# 簡易水道と上水道の統合は

とれないのか。

**答** 今回、間伐の対象となっているのが30年弱の材になっており、標準地の調査を行った結果、B材、C材であった。

〔歳出〕

・農林水産業費

**問** 今回、田んぼダムに加算措置がとられるが、取り組んでいるのは神林地区のみか。

**答** 田んぼダムの取り組みは市内の3組織で行っている。今回の加算措置の対象となるのは神林地区の17地区である。

◆上水道事業会計  
**問** 約1億5千万円の利益があるが、水道料金の値下げの

## 2年度 事業会計決算

◆下水道事業会計

以上を中心に審査しました。



廃止される村上高等職業訓練校



# 令和3年第3回定例会 議決結果

3年第3回定例会が、8月31日から9月28日までの29日間の会期で開催され、市長側提案39件を議決し1件を継続審査としました。また、議会側提案の議員発議5件を議決し、閉会しました。

## 議案審議結果

議案番号	事件名	結果	表決
議員発議第4号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について	原案可決	全会一致
議員発議第5号	地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について	原案可決	全会一致
議員発議第6号	コロナ禍において私立高校生が学費の心配なく学校で学び続けられるよう、私学助成増額・拡充を求める意見書の提出について	原案可決	全会一致
議員発議第7号	コロナ禍において私立高校生が学費の心配なく学校で学び続けられるよう、私学助成増額・拡充を求める意見書の提出について	原案可決	全会一致
議員発議第8号	豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書の提出について	原案可決	全会一致
—	閉会中の継続審査について ※1	決定	簡易
議第69号	専決処分の承認を求めることについて（専第19号 令和3年度村上市一般会計補正予算（第6号））	原案承認	全会一致
議第70号	専決処分の承認を求めることについて（専第21号 令和3年度村上市一般会計補正予算（第8号））	原案承認	全会一致
議第71号	村上市過疎地域持続的発展計画の策定について	原案可決	全会一致
議第72号	村上市個人情報保護条例及び村上市個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第73号	村上市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第74号	村上市精神障害者地域活動支援センター条例を廃止する条例制定について	原案可決	全会一致
議第76号	公の施設に係る指定管理者の指定について（高齢者生活福祉センターふれあい羽衣）	原案可決	全会一致
議第77号	市道路線の認定について	原案可決	全会一致
議第78号	市道路線の変更について	原案可決	全会一致
議第79号	市道路線の廃止について	原案可決	全会一致
議第80号	村上市職業訓練施設条例を廃止する条例制定について	原案可決	全会一致
議第81号	公の施設に係る指定管理者の指定について（朝日グリーン・ツーリズム推進施設）	原案可決	全会一致
議第82号	公の施設に係る指定管理者の指定について（朝日シルクフラワー製作工房）	原案可決	全会一致
議第83号	公の施設に係る指定管理者の指定について（林産物展示販売施設）	原案可決	全会一致
議第84号	公の施設に係る指定管理者の指定について（農産加工所）	原案可決	全会一致
議第85号	公の施設に係る指定管理者の指定について（浜新田農村公園）	原案可決	全会一致
議第86号	公の施設に係る指定管理者の指定について（四日市農村公園）	原案可決	全会一致
議第87号	公の施設に係る指定管理者の指定について（鋳物師農村公園）	原案可決	全会一致

議案番号	事件名	結果	表決
議第88号	公の施設に係る指定管理者の指定について（大関農村公園）	原案可決	全会一致
議第89号	公の施設に係る指定管理者の指定について（下渡農村公園）	原案可決	全会一致
議第90号	公の施設に係る指定管理者の指定について（門前せせらぎ公園）	原案可決	全会一致
議第91号	公の施設に係る指定管理者の指定について（海府ふれあい広場）	原案可決	全会一致
議第92号	公の施設に係る指定管理者の指定について（山熊田長期滞在施設）	原案可決	全会一致
議第93号	令和3年度村上市一般会計補正予算（第9号）	原案可決	全会一致
議第94号	令和3年度村上市情報通信事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
議第95号	令和3年度村上市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全会一致
議第96号	令和3年度村上市簡易水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決	全会一致
議第97号	令和2年度村上市一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定	全会一致
議第98号	令和2年度村上市土地取得特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	全会一致
議第99号	令和2年度村上市情報通信事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	全会一致
議第100号	令和2年度村上市蒲萄スキー場特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	全会一致
議第101号	令和2年度村上市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	賛成多数
議第102号	令和2年度村上市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	賛成多数
議第103号	令和2年度村上市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	賛成多数
議第104号	令和2年度村上市上水道事業会計決算認定について	原案認定	全会一致
議第105号	令和2年度村上市簡易水道事業会計決算認定について	原案認定	全会一致
議第106号	令和2年度村上市下水道事業会計決算認定について	原案認定	全会一致
議第107号	令和3年度村上市一般会計補正予算（第10号）	原案可決	全会一致
議第108号	令和3年度村上市一般会計補正予算（第11号）	原案可決	全会一致

網掛けの議案は次ページに賛否を掲載しています。

※1 今定例会に提出されました「議第75号 公の施設に係る指定管理者の指定について（村上火葬場無相院・山北火葬場・荒川火葬場普照園）」は、審査を付託した市民厚生常任委員会委員長からの申出により、継続審査となりました。

「継続審査」とは  
議会の会議に付せられた議案等の事件を当該会期中に審議が終了せず、当該の事件を付託された委員会が閉会中も継続して審査を行うことです。

## 各議員の賛否

議案審議結果のうち、賛否が分かれた網掛けの議案について、議員の賛否を公表します。

◎：会派の代表者 \*：会派の経理責任者

議案番号	鷺ヶ巣会				市声クラブ				清流会			高志会			新政村上		新風会		賛否結果					
	◎ 大滝国吉	* 鈴木いせ子	河村幸雄	菅井晋一	◎ 木村貞雄	* 姫路敏	山田 勉	本間善和	◎ 川崎健一	* 鈴木好彦	※1 三田敏秋	◎ 尾形修平	* 小杉武仁	鈴木一之	◎ 長谷川孝	* 佐藤重陽	◎ 川村敏晴	* 高田 晃	渡辺 昌	稲葉久美子	富樫雅男	上村正朗	賛成	反対
議第 101号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	20	1
議第 102号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	20	1
議第 103号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	20	1

※1 議長は地方自治法第116条第2項の規定により表決に参加していません。

## 陳情の審査結果

件 名	陳 情 者	所管委員会	審査結果
辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情	「新しい提案」実行委員会 責任者 安里長従 ほか1名	総務文教 常任委員会	意見の一致を見なかった
貴議会における下記事項の議員提案の要請 (沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を辺野古新基地建設の海域埋立てに使用しないことなどを求めたもの)	沖縄戦遺骨収集ボランティア 「ガマフヤー」 代表 具志堅隆松	総務文教 常任委員会	意見の一致を見なかった
「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備をはかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	新潟県私学の公費助成をすすめる会 会長 中村直美	総務文教 常任委員会	願意了承

※陳情は所管常任委員会の協議会で審査され、常任委員全員の了承で、願意了承となります。

## 意見書

- コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書
- 地方財政の充実・強化に関する意見書
- コロナ禍において私立高校生が学費の心配なく学校で学び続けられるよう、私学助成増額・拡充を求める意見書
- 豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書

上記の意見書が第3回定例会で可決され、関係行政庁に送付されました。

## 会派名の変更について

新風会から11月1日付けで会派変更届の提出があり、会派名が「令和新風会」へ変更となりました。

### 令和新風会 (2人)

会派代表者 川村敏晴 (荒島)

経理責任者 高田 晃 (山居町一丁目)

会派(かいはい)とは…  
議会活動を行うため、同一の理念を共有する議員をもって結成された団体をいいます。



# 第62回岩船林業振興祭

令和3年10月6日、関川村民会館アリーナにおいて、「木を植えて止める地球の温暖化」をスローガンに第62回岩船林業振興祭の式典が開催されました。岩船地域では合併前から、5市町村持ち回りで開催されてきており、今回は関川村が開催地となりました。

私は経済建設常任委員会委員長として、正副議長と共に出席しましたが、「コロナ禍でなければ全議員が出席させていただいていただければいい。」

式典では、功労者表彰や保育園への記念品贈呈などがあり、式典後には、会場を関川村湯沢地内の荒沢公園に移し、記念植樹が開催されました。朝まで降っていた雨は止み、秋の日差しの中で、地元の関川小学校の児童も参加し、ナナカマド、サルスベリなど6種類、合計120本の苗木が植樹され、児童は50cmほどの苗木を穴に移し、丁寧に土をかけて植樹をしていました。

今回で62回目となる記念植樹は、国土の保全、水源のかん養、地球温暖化の防止などのために各地域で行われているものであり、森林が持つ

役割の重要性、木を使うことの大切さを後世に伝え続けるため、現在も脈々と継続されているものであります。

地球温暖化の危機が心配される中、小学生たちの小さな手から植樹された樹木が、日本や世界のCO2を削減し続けるための樹木として、順調に育ってくれることを願っています。

(経済建設常任委員会)

副委員長 川村敏晴



記念植樹(関川村荒沢公園)

# 市議会あれこれ

(1)

## 「村上市議会の手引書」より

村上市議会では、議会の取り組みを

市民の皆さんにお知らせし、議会を身近に感じていただくため、「村上市議会の手引書」を作成し、ホームページに掲載しています。

議会だよりも手引書を基に、市議会についてわかりやすく紹介します。

### ●村上市議会とは？

村上市に住んでいる人の中から選ばれた代表者（議員）が、市民の暮らしを良くするために必要なことを、市長と話し合いながら決めることです。

### ●市議会ではどんなことをしているの？

市議会にはたくさんの方がいますが、主なものは次の5つです。

- ①市の決まり（条例）を決めます。
- ②市のお金の使い方（予算）を決めます。また、そのお金が正しく使われたかどうか（決算）を調べます。
- ③市の仕事が市民のために行われているかどうか調べます。
- ④国や県に対して、こうしてほしいと

意見を出します。

- ⑤市長が副市長など大切な役職につく人を決めるときに、賛成か反対かを決めます。

### ●市議会議員はどうやって選ぶの？

議員は4年ごとに選挙で選ばれます。18歳以上の市民の選挙により議員を選びます。また、25歳になると選挙に出て議員になることができます。



議会の手引書  
<https://www.city.murakami.lg.jp/soshiki/1/gikai-tebikisyo.html>

## 所管事務調査

市議会では定例会中の活動のほか、各委員会が自主的にその委員会が所管する事務について調査する「所管事務調査」を行っており、定例会が開かれていない閉会中の調査については、閉会中事務調査とも呼ばれます。

委員会ごとに調査事項を決めて、市政における課題の把握や、その解決に向けて調査を行い、市長等の執行機関に対し具体的な政策や施策を提案するものです。

### 総務文教

## 水滴落下の根本的な解決へ

当委員会では、山北中学校において、体育館の水滴落下の対応経過とコロナ対策について調査を行いました。

### 水滴落下の原因は

学校教育課の調査結果としては、全面ウレタン塗装をしているので雨漏りは考えにくく結露対策も施しているため、構造上の問題も視野に入れて業者とも協議しながら改善していくとのことでした。

### 学校のコロナ対策は

子どもたちの安全のために、今後必要に応じた点検、調査、改善を進めていくべきだと思います。

密を避けるために特別教室を使い、給食を食べる場所を分散するなどの工夫が見られましたが、エアコン設備のない教室を利用していたこともあり、今後ランチルームを含む特別教室のエアコン設置の必要性を感じました。また、衛生管理に関しては、アルコール消毒の頻度、箇所を増やすことで対応していますが、

専門家から手洗いよりもアルコール消毒が効果的であるという指導があったため、現在は手指消毒の徹底を行っているとのことでした。

### 職員の負担軽減を

今年度は、スクールサポートスタッフの配置がないと説明がありました。コロナ対応で職員の負担が大きくなっていますので、早期に対応する必要があると感じました。



山北中学校体育館を視察

### 市民厚生

## 障がい者就労支援の輪を

当委員会では、障がい者の就労支援について、障がい者就労支援関係団体との意見交換会を行った内容を踏まえ、福祉課への聞き取り調査を行いました。

### 市から請負可能な業務は

各就労施設から、市への納品希望物品等や受託したい作業の一覧表を提出してもらっており、それを基に各課に業務の発注をお願いしているとのこと、3年度の調達目標額は107万円との説明があり、減少傾向にあります。

委員より、市から民間業者へ発注した業務を障がい者就労施設へ下請けに出せるようなシステムが可能かとの質疑に対して、契約は入札で決まっており、当該業者に委ねられるため難しいとの回答がありました。

### パンフレットを作成

コロナ禍の影響で市からの発注も減少しているため、市民や企業からの仕事を得られるように、昨年度、障がい者

就労施設の紹介や仕事内容を掲載した、村上市障がい者就労施設等PRパンフレット「むらかみかくしごと」を作成したとのことでした。

障がい者就労の輪を広げていくためには、就労支援関係団体との情報交換を市が主体となっていく、ネットワーク強化と情報共有を図っていくことが大切であると感じました。



障がい者の就労支援に関する意見交換



# 市民の意見を政策につなげるために 常任委員会の所管事

## 経済建設

### 市内飲食店の現状は

当委員会では、新型コロナウイルス感染症の影響による経営状況等を把握し、今後の課題を調査する目的で、サーモンハウスさん、おもてなしの宿石田屋さん、割烹食堂いそべさん、(株)新多久さんの市内4店舗の事業主さんにご協力をいただき、現況について調査をしました。

ための有効な支援策であったとのことでした。また、営業を継続するために借入した資金に対しての金利補助やイベント実施の必要性などの意見がありました。

当委員会としては、市に対して、他の委員会とも連携しながら、経済支援策に有効な施策の提言をしていきたいと考えています。

**売り上げ状況は**  
各店舗ともコロナ禍における最大の危機は、昨年および今年の4月、5月であり、従来の売り上げの5割から8割強の落ち込みであったとのことでした。

現在の来店者状況については、少しずつ客戻りはあるものの、大人数宴会等は全くなく、高齢者層のお客さんは、なかなか戻ってこない現状とのことでした。

#### 有効な支援策は

有効と感じた支援策として、雇用調整助成金やGOTOトラベルがあり、市による飲食支援券も、売り上げを支える



コロナ禍の影響について意見交換

常任委員会名	調査日	内 容
総務文教	7月14日	山北中学校の施設管理状況について 〈場所：山北中学校〉 説明員：学校教育課、山北教育事務所、山北中学校
市民厚生	7月16日	障がい者就労支援に関する各団体との意見交換会 〈場所：村上市役所〉 出席者：社会福祉法人青空会すすかけ、CROSSWALK、朝日なごみ、浦田の里、みどりの家、りんらん、社会福祉法人愛宕福祉会さかまち障がい者複合施設未来ワークサポートさかまち、やまびこの家、新潟県立村上特別支援学校、ハローワーク村上、施設利用者の保護者
	8月10日	障がい者就労支援団体との意見交換会後の再度福祉課との聞き取り調査 〈場所：村上市役所〉 説明員：福祉課
経済建設	8月4日	北前船の調査について 〈場所：瀬波中町、瀬波浜町〉 出席者：瀬波北前船研究会 説明員：農林水産課、観光課、都市計画課、生涯学習課
	8月6日	コロナ禍における市内飲食店の現状について 〈場所：村上市役所〉 出席者：おもてなしの宿石田屋、割烹食堂いそべ、サーモンハウス、(株)新多久 説明員：地域経済振興課



広報特別委員会委員が  
おじゃましました！

## 天然酵母に魅せられて

さこゆうたろう  
佐護裕太郎 さん (志田平)

### ■自己紹介をお願いします

広島県広島市出身の35歳です。  
大学を卒業後、東京でパン職人として働いた後、将来は薪窯でパンを焼けるようになりたいと思い、北海道帯広市の薪窯のパン屋に4年間勤め、修行を積みました。

### ■移住されたきっかけは

妻が南魚沼市出身なので、将来は新潟に移住を考えていました。そんな中、天然酵母の薪窯パン工房マリラの内山さんと3年ほど前にネットで知り合い、地域の食材にこだわり、ライ麦の種まきから収穫まで思い入れを持って取り組んでいられることに魅かれて、移住を決意しました。



### ■村上市はいかがですか

村上市は山と海があり自然がとても美しく、酒、味噌、醤油、鮭などの発酵食品が豊富にあり、同じ発酵で作るパンにも適した土地だと感じます。

### ■今後の抱負をお聞かせください

いまはマリラで窯や薪やパンのこと、地域のことなどを教えていただきながら、将来の夢である薪窯のパン屋に向けて準備しています。

## 議場でのコロナ対策について

村上市議会では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、議員は、議場に入る前には手指消毒および検温の徹底を行っています。また、傍聴席の収容人数を半分（33人）に減らしていますので、市民の皆さまには、新型コロナウイルス感染症が収束するまでは、できる限りインターネット中継をご覧ください。お願いします。



## 令和3年 第4回定例会のお知らせ(予定)

11月15日(月)	請願・陳情の提出期限(正午まで)
11月30日(火)	定例会初日(本会議)
12月2日(木),3日(金) 6日(月),7日(火)	一般質問(本会議)
8日(水)	総務文教常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会
9日(木)	市民厚生常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会
10日(金)	経済建設常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会
14日(火)	一般会計予算・決算審査特別委員会
17日(金)	定例会最終日(本会議)

\*この日程は変更されることがあります。  
\*開会時間は午前10時です。